

街を歩いて、狛江の魅力を発見してみましょう。

Komae Town Walk

「狛江のまち 魅力百選」 まちあるきマップ

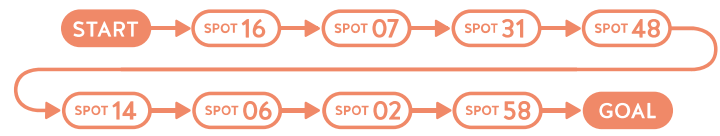
水や緑を身近に感じたり、
歴史に触れたり…狛江のまちは見どころいっぱい。

「狛江のまち 魅力百選」にも、
そんなスポットが多く登録されています。

ここでは、代表的な狛江の
シンボルを巡るふたつのコースをご紹介します。

●スポットにふられた番号は、「狛江のまち 魅力百選」の登録番号です。

1日コース (狛江駅から和泉多摩川駅へ)



約2.8kmをゆっくり回ります。

半日コース (和泉多摩川駅から狛江駅へ)



約3kmを気軽に回ります。



1日コース
 狛江の代表的なスポットと豊かな緑をたっぷり満喫！公園などのピクニックスポットで休憩しながら、ゆっくり回れるコースです。

半日コース
 市内に多く残る古墳を中心に、狛江の歴史に思いを馳せてみましょう。多摩川の川床からスタートして、細い路地を通りながら、気軽に回れるコースです。

Let's go for a walk in KOMAE!

「狛江のまち 魅力百選」 まちあるき おすすめ ①日コース

百選の魅力を
たっぷり味わおう



泉龍寺 (雲松山泉龍寺)

歴史と自然が融合する場所

多摩地域の中でも歴史があり曹洞宗に属している寺院で、季節感あふれる豊かな自然的環境が魅力。駅前風景を特徴付けています。

狛江市元和泉一丁目6番1号
(問)03-3489-6778

SPOT 16

駅前のお店で
ランチとおやつの
買い出しを



小田急線狛江駅北口から
START!



徒歩約1分



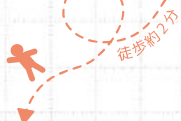
緑地保全地区一帯

駅前とは思えない緑空間です

泉龍寺に隣接し、昼でも暗いほど緑の濃い特別緑地保全地区一帯(約2.1ha)は、季節感いっぱい。月一回の開放日には、市民の会による説明も行われています。

狛江市元和泉一丁目7番 (問)03-3489-7139
(狛江弁財天池特別緑地保全地区市民の会事務局)

SPOT 07



徒歩約2分



いこいのカフェ

狛江駅北口すぐの穴場カフェ

泉の森会館二階のカフェで、コーヒー(300円~)はいかがですか。ギャラリーが隣接する居心地よい空間は、地域交流の場となっています。

狛江市元和泉一丁目8番12号 2F(カフェ12:00 ~ 18:00、不定休)
(問)03-5497-5444

SPOT 31



徒歩約4分



田中橋

ひっそり佇む六郷用水の名残

仙川駅へ通じる道の途中、田中橋交差点脇に残る、小さな社と橋の部材。かつて一帯に農業用水を供給していた歴史がしのべられます。

狛江市元和泉一丁目14番
(問)03-3430-1111(市役所(代表))

SPOT 48

*六郷用水は、玉翠園跡から六郷さくら通り、いちよう通り、世田谷通りを経由していました。



徒歩約6分



西河原自然公園周辺

せせらぎの横でピクニック!

小川が流れる約4,900㎡の園内は、緑がたくさん。持参したお弁当を木陰で広げ、水音に耳を傾けながら、のんびりと過ごしてみたいかがですか?

狛江市元和泉二丁目34番
(問)03-3430-1111(市役所(代表))

SPOT 06



徒歩約2分

徒歩約14分



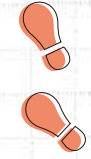
むいから民家園

狛江の伝統的な生活文化を伝えます

むいからとは、屋根を葺く「麦わら」のこと。茅葺きの古民家を移築、維持管理し、季節を通じた恒例行事も開催(16、17ページ参照)。

狛江市元和泉二丁目15番5号 (問)03-3489-8981
(9:30 ~ 16:30、水・木定休)

SPOT 14



徒歩約15分



五本松と多摩川

狛江を代表する景色です

多摩川沿いに堂々と立つ松は、「新東京百景」にも選定されたもの。多摩川の風景を象徴するこの場所には、毎日多くの市民が訪れます。

狛江市元和泉二丁目
(問)03-3430-1111(市役所(代表))

SPOT 02

多摩川いかだレース
(16ページ参照)の
スタート地点!



多摩川の河川敷

多摩川水道橋を望む美しい夕焼け

豊かな自然と自由に触れ合える河川敷では、空いっぱいに広がる夕焼けを眺められます。刻々と変化する景色の美しさは見飽きることがありません。

多摩川河川敷一帯

SPOT 58

河川敷から
徒歩約6分の
小田急線と泉多摩川駅が
GOAL!

Check It!



リラックスしたカモの姿も。
芝生で足を伸ばして食べるお
弁当は最高!

Check It!



緑を間近に臨むテラス席も。
コーヒーはハンドドリップで
丁寧に抽出しています。

徒歩約1分

Let's go for a walk in KOMAE!

「狛江のまち 魅力百選」 まちあるき ぶらり 半日コース

狛江の歴史に触れる
まちあるき

5世紀半ばから6世紀半ばまでの間

「狛江百塚」と呼ばれるほど多く築造された古墳を中心に、
狛江の歴史がしのばれるルートです。

徒歩約25分



和泉多摩川 川床

水と緑のオープンスペース

二ヶ領宿河原堰(18ページ参照)に
ほど近い場所に広がる、低く岩が隆
起した川床。川辺の生態系を間近に
観察でき、太古からの自然の営みを
感じられます。

多摩川河川敷一帯(猪方四丁目付近)
(問)042-377-7403
(国土交通省京浜河川事務所多摩出張所)

SPOT 03



小田急線と泉多摩川駅北口から

START!

Check It!



ビル中庭から見る裏側
には階段や石碑があり、
趣きを感じられます。



駄倉塚古墳

駅付近の中心地に残る古墳

狛江駅の北口再開発事業の際に保全
された古墳で、中央部のみが現存。数
本の松が伸びる小さな山として市役所
近くに残っています。

狛江市中和泉一丁目(個人管理)

SPOT 40

川鷗や小魚など
色々な生き物を発見!

徒歩約18分



徒歩約8分



前原塚古墳

畑の真ん中に現れる古墳

6世紀前半に築造された古墳で、現在は直径
18mほど。本来は21mほどあり、これ以外に猪
方地区には7基の古墳がありました。

狛江市猪方三丁目(個人管理)

SPOT 82

いまだ形態を保つ
貴重な古墳。
狛江百塚の名残



天台宗の古刹、玉泉寺

1504年開創の歴史ある寺院

調布市にある天台宗別格総本山・深大寺の
末寺で、境内のお堂に祀られるおしゃもじさ
まは、百日咳には靈験あらたかと言われ、
人々の信仰を集めていたとか。

狛江市東和泉三丁目10番23号
(問)03-3480-2330

SPOT 75

Check It!



現存の五輪塔には「康安元
年」(1361年)の文字。1504
年より早い開創との説も?

徒歩約9分



住宅街の真ん中の古墳、亀塚古墳

なんとアパートの後ろにも!

狛江古墳群唯一の帆立貝形古墳であ
り、現在は一部が残るだけ。1951年の発
掘調査で、5世紀末頃の石棺や多くの遺
物が出土しました。

狛江市元和泉一丁目21番
(問)03-3430-1111(市役所(代表))

SPOT 86

徒歩約15分



徒歩約2分



駄倉橋石柱

繁華街に残る六郷用水の名残

駅前ロータリーのすぐ近くの石柱は、
かつて六郷用水に架けられていた橋
の跡。五本松上流で取り入れた水が
流れていたそうです。

狛江市中和泉一丁目
(問)03-3430-1111(市役所(代表))

SPOT 99

徒歩約6分



いこいのカフェ

帰る前に、ちょっと休憩を

語らうのにぴったりのローカルなカフェで、一
日の締めくくりを。イベントやギャラリーにも使
われる泉の森会館は、市民の憩いの場です。

狛江市元和泉一丁目8番12号2F
(カフェ12:00~18:00、不定休)
(問)03-5497-5444

SPOT 31

電車での帰宅にも便利。
ここから徒歩約3分の
小田急線狛江駅が
GOAL!

Careful Selection!!

こんなところにも!

狛江の厳選立ち寄りスポット

まだまだある!
狛江のおすすめスポット

200年以上継承される歌碑

○万葉歌碑

1805年に建立後、1829年の多摩川の洪水で流出。現存しているものは1924年に再建されたものです。旧碑の拓本を元に再建されました。寛政の改革で有名な松平定信の書で、「多摩川に曝す手作さらさらに何そこの児のここだ愛しき」(万葉集巻第14-3373東歌)と刻まれています。

狛江市中和泉四丁目14番
(問)03-3489-8105(伊豆美神社)

SPOT 32



歴史的遺構が点在します

○今なお街中に残る石造物

狛江市のいたるところで目にする石造物の多くは、江戸の文化文政時代以降につくられたものといわれています。米や野菜、お金を持ち寄り皆で飲談したといわれる庚申講や、それぞれに言い伝えが残るお地蔵さまなど、いにしへの時代と人々の思いを伝える場所として貴重なものです。

狛江市各所に点在(写真は和泉松原庚申堂、和泉本町一丁目25番1号・個人管理)

SPOT 78



駅前たたずむ可憐な女の子

○万葉をしのぶ乙女像『たまがわ』

狛江市の玄関口、狛江駅北口のシンボル。少しうつむき加減の様は、多摩川の川面を見つめながら、「万葉歌碑」にも刻まれている歌に思いを馳せる少女の姿をうまく表現しています。「万葉歌碑」と合わせ、万葉時代の空気を伝える貴重な存在として評価されています。

狛江市元和泉一丁目7番(狛江駅北口駅前広場内)
(問)03-3430-1111(市役所(代表))

SPOT 33



身代わり伝説のあるお地蔵さま

○狛江の新パワースポット! 耳切り地蔵

泉龍寺別院の地蔵尊。昔、追いはぎに片耳を切られた人がいましたが、気付くと自分の耳は無事で、お地蔵さまの耳に刀傷があったとか。危機を救うとして信仰されてきたお地蔵さまが、今後も人々を守ってくれるでしょう。現存する狛江の地蔵尊の中で最古のものです。

狛江市元和泉一丁目13番18号 泉龍寺別院
(問)03-3489-6778(泉龍寺)

SPOT 80



狛江の採れたて農産物をどうぞ

○市内産農産物の直売所

狛江市内の農家では名産の枝豆をはじめ、四季折々の野菜や果物を生産しています。積極的な「地産地消」も狛江のまちの魅力のひとつ。新鮮な農産物を購入できる直売所も、市内のあちこちに点在しています。市役所で配布している「狛江市農産物直売所MAP」に詳しい場所が掲載されています。

狛江市各所に点在
(問)03-3430-1111(市役所(代表))

SPOT 37



“いぼ”に悩む人々がお参りに

○塩地藏様の意外なご利益

1612年創建の慶岸寺の塩地藏は、お参りのお礼に塩が奉納されてきたためご本体が崩れてしまったそう。江戸時代から信仰を集めていたことが感じられます。別名は「いぼ取り地藏」。いぼ取りにご利益があるといて、現在も悩める人がお参りに来るようです。

狛江市岩戸北四丁目15番8号
(問)03-3489-0934(慶岸寺)

SPOT 93

狛江の暮らし方名人レポート！

「狛江のまち 魅力百選」の中には、ユニークな活動で親まれる地域の有名人が登場します。自身も楽しみながら、まちづくりに貢献する2人を訪ねました。



PICK
UP
THE
LIFE

赤羽眞さん

Makoto Akabane



「狛江の蛍」

SPOT 53

蛍が繋げる、子どもたちと狛江の未来

「街で子どもに『蛍のおじちゃんだ!』って呼ばれるんです」と目を細めるのは赤羽眞さん。個人で蛍の飼育に取り組み、もう20年以上が経つそうです。故郷の長野県のような美しい水環境を多摩川に取り戻し、稀少な蛍を子どもたちに見せたいと始めたこの活動ですが、今年もお手製の装置で、数百匹を飼育中です。季節になると、講



試行錯誤で完成した飼育装置は、水温を一定に保つなどの工夫が、

成虫の蛍

師をつとめる「狛江水辺の楽校(17ページ参照)」や近隣の小学校で蛍を放して披露し、ときには自宅の庭で観賞会をすることも。多くの子どもに、蛍の魅力はもちろん、環境問題を考えるきっかけを与え続けています。2013年現在、御年90歳!「蛍のことを思うと力が湧くんです」と語る赤羽さんの愛蛍たちの活躍が、今後も楽しみです。



子どもたちからもらった感謝状など大切に保管し読み返しているそう。

みんなを笑顔にさせる“おばけの木”

道行く人が足を止めて記念撮影。和泉本町四丁目よく見られる光景です。その訳は、コミカルな顔のかたちに刈り込まれた、松本信一さん宅の庭の木。「いたずら心がきっかけです。2009年に左の木を細工して評判になり、2012年から2013年にかけて右側の木2本も顔のかたちに。三兄弟になるとは思いませんでした」と笑う松本さん。

いつか子どもたちから「おばけの木」と呼ばれるようになった木は、秋にはランタンが灯されたり、クリスマスにはポインセチアが飾られたりと、季節ごとの表情で人々を楽しませています。「ゴンドラに乗り刈るので、手入れが大変」と言う松本さんですが、さらに仲間を作る計画を考え中とか。街を見守る優しいおばけが増える日も近いかもしれません。



一番左は、松本さんのお子さんが「ガオウ」と命名。年々完成度も上がり、表情豊かになっています。右の2本はまだ名前がないそう。

第2章

水と緑のまち狛江をあそぶ